

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-187）」

2. 日時：令和4年11月8日（火） 13時30分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任  
安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、  
上出安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他11名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ

グループマネージャー 他1名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ 担当

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「設工認申請に係る対応状況」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 令和4年11月7日

「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁シミズを開始しました。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日のヒアリングは令和2年12月24日に申請があった設工認申請についてヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:16	まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からコサクキシノオオオカセトガワシミズ
0:00:26	その他WEBからカミデオオハシタジリフジワラタカナシ。
0:00:33	はい、以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介をした上で議題の構成を説明し、資料の説明を開始してください。
0:00:44	午前ナカハマでございます。
0:00:48	日本減免側の出席者を紹介いたします。
0:00:52	ムラヤマサトウ文化発信。
0:00:56	イシハラ。
0:00:58	サガワン。
0:00:59	助川。
0:01:01	藤野。
0:01:03	サトウミヤモト。
0:01:06	プラスし、
0:01:07	まず
0:01:09	ナカハマ以上となります。
0:01:12	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、取り関連計算していただいております。
0:01:19	紙審査会後資料でございます。設工認申請に係る対応状況。
0:01:25	続きまして共通項目と個別項目の書き分けについて、以上二つの説明資料となります。
0:01:33	それではまず初めに、審査会合資料からご説明を差し上げます。
0:01:41	はい。日本原燃の佐藤でございます。それでは昨日提出いたしました会合資料についてご説明いたします。まずですね11月4日に面談させていただきまして、そこでいろいろご意見ご指摘いただきました内容をですね、
0:01:58	十分反映し切れないままにですね、提出してしまいましたこと誠に申し訳ございません。いいわけでも何でもないんですがやはりちょっと再補正の準備と、ちょっと平行してやったがために、私含め、ちょっとチェックが十分行き届か行き届かなかったと。

0:02:14	ということで反省しております。本当に申しわけございません。ご説明に当たりましては、その辺りちょっと社内ですね、修正案等を考えておりますので、ちょっとその辺りを紹介しながら、説明させていただきたいというふうに思います。
0:02:29	まず2ページ目目次でございます。目次につきましては、特に変更なく補正概要と現在申請中の補正概要と、今後申請する設工認の類型化の検討状況。
0:02:43	これについてご説明したいというふうに思っております。
0:02:46	次の3ページ4ページ目でございます。ここですね、まず補正概要について書かせていただいております。表の中に、
0:02:56	右側のところにですね指摘事項に対する対応及び補正概要というところを記載してありますけれども、すいませんこれ概要だけの誤りでございます。
0:03:07	指摘事項に対する対応と、補正概要これについて、会合資料2ということは認識しております、指摘事項に対する対応といいますのは、ページ、大分さかのぼり、めくっていただくことになるんですが最後の12ページ。
0:03:24	12ページに前回会合での指摘事項に対する対応状況ということで、参考の方にも落とした形になっております。もう当然会合でご説明すべき内容でありますので、参考ではなく前の、この補正概要のところの前に、
0:03:42	今回は持っていきたいというふうに思っております申し訳ございません。
0:03:47	4ページに戻っていただきまして補正概要につきましては項目のところに記載してあります通り、申請対象設備の抽出プロセスであるとか類型化の反映、あとは申請書への記載の整理適正化これについて逐条ごとに記載をさせていただいております。
0:04:07	1ポツ目の申請補正概要、新しい版では湖誠会プラス指摘の対応という形でさせていただこうと思っておりますけれども一部につきましては以上になります。
0:04:18	引き続き、ご説明した方がよろしいでしょうか。
0:04:23	規制庁市民です続けて説明をお願いします。
0:04:29	はい。承知いたしました。それでは6ページの2ポツです。今回申請する設工認の類型化の検討状況というところに同じになります。
0:04:40	7ページ目でございます。

0:04:42	ここにつきましても、ちょっと11月4日にですね、この類型化に関して、我々原燃の今までの対応をこれの振り返りを記載すると。
0:04:55	ということで我々考えておったんですけれどもそれが十分反映されないものが出てしまっております。申し訳ございません。この右側の対応状況につきましては、
0:05:08	映像で、
0:05:11	はい。
0:05:13	瀬野。はい。修正版ちょっと修正版でご説明したいと思いますけれども、
0:05:33	7ページお願いします。梶井でちょっと修正を加えております。まず類型化そのものにつきましては、令和2年の6月24日の規制庁からの審査の進め方の中で、重要性これは指摘されておりましたけれども、
0:05:48	我々としてはその意識が絶えず対応が不十分だったということを、
0:05:53	二つ目につきましては、前回の会合でもその旨、指摘を受けておりましたけれども、以降の我々の対応も迅速性を変えていたということ。
0:06:02	3ポツ目にですね、そういった認識を改めてですね、条文担当それから事務局、施設課メーカー、これが一体となってスピード感を持って対応していると、いった形でここは修正改めさせていただきたいというふうに思っております。
0:06:19	8ページ目9ページ目、これ8ページ目はですね、経過に関する整理の方針について書かせていただいておりますここは特に変更はございません。
0:06:30	9ページ目、10ページ目対象設備の選定の考えの見直しについての資料つけさせていただいておりますけれども、ここも備考までは前回の会合でもご説明した内容には右の欄にですね、評価方法の分類であるとか、
0:06:45	或いはその構造的な分類といったようなところで、代表を選定類型化等に必要な情報として、こういったものがあるということを追記させていただいたものを載せております。
0:06:58	11ページ目になります。これについてもですね、竜巻の例でちょっとまず付けておりますけれども、
0:07:05	つきましても議論させていただいている耐震のところでは差し替えさせていただきたいと、いうふうに思っております。画面共有の方で載せておりますけれども、耐震の建物機器配管それぞれを分類した形で、
0:07:19	行って8分類というような形でのご説明をさせていただきたいというふうに思っております。
0:07:28	はい。説明の方は以上になります。本当に申し訳ございませんでした。

0:07:34	規制庁吉見です。
0:07:36	以上、正確で規制庁側からただいまの説明について確認等ございましたらお願いします。
0:07:46	規制庁の田尻です。
0:07:48	まず一つ、これでいいですかね1月の3ページから5ページまでのところでなんですけど、一応先ほどの話で指摘事項部分12ページにあるものと補正概要について分けてという話をされたところなんですけど。
0:08:02	小関会場だとしても微妙な記載が多いような気はしていて、何か先ほど話後で出てくる経過の話も類型化したというだけの結論が書かれていたり、かつ言わした介護ですね。
0:08:15	展開してきた内容っていうのが、多分今回補正で反映されて、
0:08:21	この後出てくるんだと思ってい。
0:08:24	話とかそういったことを対応しましたっていう話も特になく、空のところだけが挙げられてるような気もするんですけど、そこらっていうのは何か整理をされるんですかね。
0:08:35	元の佐藤でございます。おっしゃる通りですね12ページで書かせていただいている、審査会合での指摘として、そのボックスの反映この辺り或いは水平展開をするのが軽重が
0:08:48	外症例ですけれども情報によつての形でやったというような話この辺りの会合の指摘を受けて、当然今回のこと、はいと言ってもありますので、基本としては補正の内容にはなるんですけれどもその辺りはですね、
0:09:02	会合を受けた補正へのは補正の範囲であるのか、そうでないのかといったところをちょっと調べる形でそこはわかる形で出ささせていただきたいというふうに思っております。以上です。
0:09:14	口を挟んですいません日本ネシアでございます。
0:09:18	これのサトウの回答を取られてる気がしていて、ボックスを先頭で走らせてそれを通じ生産処理はMOXの内容をちゃんと反映した上で、
0:09:29	申請書を作り込むっていうのは減免がもともと生み出した形なので、それを買うベースで入れた上で、補正を今回つくるというのであれば、まさしく4ページの申請書記載事項の整理の適正化の一番トップにそれがいて、
0:09:45	それがベースにあったように個別の条文ごとにやるべきことをやってきましたっていうのが、補正無ない紙そのものじゃないかなと思ってます。

0:09:57	はい。規制庁館です。ただいま石原さんがおっしゃっていただいたように、時間がかかって多分まさにその辺りだと思っていて、どういう構成されるか原因が考えられるところだと思うんですけど審査会合の指摘事項への対応というので12ページに書かれてるようなものをやりつつ、補正の概要という意味でいうと前、
0:10:15	1回、夏でしたっけ8月とか言ったっけ、ちょっとすいませんつけ忘れたんですけど。
0:10:19	そこはどういったところ反映したというところで今、申請書記載事項の整理を適正化っていうので個別細かく何かちっちゃいものも含めて挙げていただいているんですけど、大枠としてどういったこと対応してたのかっていうところがわかるように書いていただいた方が
0:10:32	別に個別個別のところの1個1個の項目を、説明していただいてそこについて確認してくという形でもないような気がしているので、どういった対応されたのかというところがわかるようにだけしていただければと思うんでよろしくをお願いします。
0:10:46	はい。新美サトウです。承知いたしましたちょっと各逐条ごとに細かく書き過ぎたところもありますので、大枠としてどういうことをやったのかというのはしっかりと記載させていただきます。
0:10:56	規制庁田尻です。ちなみに、ほぼ今までも変え御説明されたからちゅうことだと思うんですけど、申請の分割申請計画ですかねそういったものも直しましたとかっていうのは補正の概要とかで改めて言わない。あくまで本文とか、
0:11:11	本文じゃないな、基準的の部分だけ今回説明するような構成考えてるんですけど。
0:11:19	作動ですはいその認識でございました。
0:11:23	規制庁コサクです。
0:11:26	認識を改めていただいて、補正で、何を直したのかということ意識説明するようにしてください。
0:11:36	佐藤です。承知いたしました。
0:11:41	規制庁草間ですちょっと話を少し戻しますけど。
0:11:45	12ページの審査会合の指摘事項ってこれちゃんと書いてます。
0:11:55	再処理施設特有のものっていうのをしっかりと考えることって指摘しませんでしたっけ。
0:12:08	N a -セガワですそういう意味ではちょっと項目として大きな枠でちょっと拾いすぎてる感じがしましたので、

0:12:19	もう少しきめ細かくですね、指摘事項を拾ってその対応というのを、次を出して説明するようにしたいと思います。
0:12:28	はい。コサクですよろしくお願ひします。なんか瀬川さん力が弱い感じしますけど大丈夫ですか。
0:12:34	ありがとうございます。いえ大丈夫です。いつも通りでございます。
0:12:40	コサクですわかりました。
0:12:45	実績事項議事録で残ってますから、しっかりとピックアップして書いていただいて、先ほどの話だと、指摘事項の対応自体は、
0:12:56	すごい大枠でかい。
0:12:58	できつつ、そのあと、補正内容ということで具体の展開状況を説明されると。
0:13:05	いう資料構成にするっていう理解でよかったですかね。
0:13:12	すいません今ちょっと放送が流れてるのと言いながら終わりましたね。はい。
0:13:18	はい、承知いたしました指摘事項うまく大枠でとらえながらも、きちんとその対応についてはきちっときめ細かく、
0:13:28	説明するようにいたします。以上です。
0:13:31	補足ですすいません 12 ページを前に出す時にはそんなに細かなくてよくて、
0:13:37	その代わり 2 補正ないよという補正概要ですか、の説明をするときには少し具体を示して、こういう対応してたので時間がかかりました。
0:13:48	ということがわかるようにしていただく、で、補正概要は補正全体として、修正したところがわかるように、
0:13:58	ということで理解をしてますけどいいですか。
0:14:03	植野セガワさんの承知いたしました。
0:14:07	ちょっと見せ方とかも工夫しながらですけども指摘事項を冒頭に持って行った上で、それが 2 ページ以降にその補正の概要をまとめて記載していきますけれどもそのどこの項目に紐づいてるのかなんていうのもちょっと見せながらですね、
0:14:21	関連性見えるようにしながらきめ細かく、
0:14:25	清野甲斐を表記していきたいと思ひます以上です。
0:14:29	はい、尾崎ですよろしくお願ひします。その上で、谷井さん、補足なり、
0:14:35	何かあれば、

0:14:36	それで、いや、今言っていたやつで十分だと思ってるんで十分とか、十分なものが出てくるか次第のところはありますけど方向性としてはいただいた通りだと思ってます。
0:14:47	すいません、カミデです。12 ページの話の中あったので先ほど古作が言った通りではあるんですけど、三つ目のところ
0:14:58	耐震の類型化と同様に材料構造についてもっていうのも、こちらの認識と違っていて、
0:15:05	全体に対してどういう経過が必要でせ、耐震はいいけどその他全体はまとまってませんよということを私は申していますし、
0:15:15	議事録も残ってますので、その辺りは知らずに、ちゃんと書いてもらえればと思います。その中で具体的に材料構造云々という話はしましたが、指摘事項の趣旨としては、
0:15:28	その他全体まだまとまってませんねということでしたから、よろしくお願いします。
0:15:33	阿藤指摘事項の対応のところも、ヒアリングで説明って一体何なのっていう感じですし、実際対応されたことというのと、
0:15:44	耐震も基本設計の中に骨格は入れていいし、材料構造もその類型化っていうのを踏まえた、評価条件の線量だったりっていうのを添付の基本方針に、
0:15:59	示し、計算書の枠組みとかも一応作っていると思うので、それは補正にこういうところが反映されていますっていうことがまず書けるはずだし、
0:16:11	あとは次回っていう話も説明したいのであれば今こんな検討をしていますよっていうことが書けると思うので、そのあたり、適切に書いてもらえればと思いますが、よろしいですか。
0:16:25	はい。日本原燃の瀬川様、非常に具体的に、
0:16:29	保護性示していただいたかなと思っております適切に反映いたします。以上です。
0:16:41	はい。カミデです私からとりあえず 12 ページは
0:16:50	ちょっと事実、1 ポツと 12 ページの他、規制庁側から何かありますかかなければちょっと 2 ポツにいつてしまおうかなと思ってるんですけど。
0:16:59	カミデです。1 ポツで言うと、
0:17:03	そうですねもうちょっとちゃんと書いてっていう話に大体含まれてるのかなあとは思いつつ、
0:17:11	最初の 4 ページ



0:17:13	申請対象設備の抽出プロセスも、一つ目の四角は、補正の概要としては違って、
0:17:23	二つ目の四角も補正についてリストとして整理したってことがありますけど補正の表は、
0:17:33	何か何々表みたいな表が、多分名前がついてるんで、そこに反映したみたいな感じでちゃんと書けばいいと思いますし、
0:17:43	類型化のところも先ほど言ったように申請書に反映してるところがありますから補正概要として、適切な記載っていうのを、
0:17:53	してもらっていい感じだと思います。あとは、
0:17:57	5 ページ目の材料構造のところは、ちょっと適当過ぎなので先ほども言いましたけど、もう少し書けるんじゃないかなと思い、
0:18:05	1 ポツはそんなところですよ。
0:18:13	規制庁コサクです。今野Dと4 ページその抽出プロセスはこれ補正で何か修正あったってことですか。
0:18:23	日本原燃の瀬川です修正があったわけでは、
0:18:26	何かないのでもっとどう表現しようかなというのをちょっと迷ったんですけれども。
0:18:32	改めて、なんて言ったらいいんでしょうね。うん。
0:18:36	これまでの内容が妥当であることを確認した上で再掲したってようなイメージなんですけれども。はい。
0:18:44	加来ですけど条文のぶらさバリーの考えとカーが大分少なくともヒアリングでの回答が費あやしいことが多かったんですけど、
0:18:57	振り返ってみると修正しなくてよかったってことなんですか。
0:19:00	よかったってことなんですか。
0:19:03	はい。日本原燃の瀬川です。えっとですね縦軸の老人物自体は、修正が必要なものではなかったということを確認したわけなんですけれども09からのアプローチという意味では、
0:19:15	09からのアプローチの間を同じアプローチの一部でしょうけれども、右の条文との関係性というのは、これはまさに前はちいの資料とかでも個別に
0:19:28	議論させていただいておりますけれども、そのところは、丸付けの適正化っていうのは、無実が発生しております、
0:19:38	それは今回の補正においても、適正化を図っておりましたので、ちょっと左側の抽出プロセスっていうキーワードだけにしてしまうとちょっとその辺繋がらないので、
0:19:50	こちら辺のちょっと書き方も含めてですねちょっと

0:19:54	丸付けが
0:19:58	適正化されたといったところに繋がるようなキーワードに変えたいと思います。以上です。はい。すいませんリストっていうのは結局マトリックスであって、縦軸と、
0:20:10	横軸がともに整理されてないと意味のないものなので、それがすぐ作業があった、修正があったっていうことがわかるようにしていただければと思います。
0:20:20	石原さん、何か補足ありますか。はい。ちょっとセガワの認識が間違ってる可能性もあるので、この代表設備を設備の抽出プロセスってのは正しく、コサクさんもおっしゃった通り、
0:20:31	その設備分もうまく抜き出すということと、条文要求との紐づけをするということがダブルで行為としてあってそれがちゃんと抜けなくてできなきゃいけないってところからすると、
0:20:42	縦軸ができたらいいですっていうわけでは多分ないので、補助金のばらつきも含めて、コープチャンスプロセスの中で完成させると。そのために、共通、0シリーズで審議の金融機関周りに引っ張ってきて、抽出プロセスに乗っている。
0:20:57	数なので、そこはちょっと社内でも誤解がないようにとは思って、発言しました。以上です。
0:21:03	はい、古作ですよろしくお願いします。
0:21:08	先ほどカミデからも言いましたけど、累計のところは
0:21:12	ちゃんと書くという意味だと、そもそも累計の上流としての基本設計方針の整理ですし、それを踏まえて添付書類の構成、
0:21:21	ということ。
0:21:22	になってて、だからこそ、
0:21:26	変更なしのたいところではありましたが、強度の関係でも、今回、対応がとられていると。
0:21:32	ということなので、そそう言った全体像がわかるように、補正として何をやったのか。
0:21:39	ということがわかるようにお願いします。
0:21:44	はい、承知いたしました。
0:21:56	ただ、2ポツの方いきましようか。
0:22:04	はい。規制庁田尻です。日報通もちょっと自分からまず行かせていただければと思うんですけど、7ページに関しては書き換えをされるというところだったと思うんですけど。

0:22:15	何か認識が合ってるかどうかというところなんですけど、それに考えると、実際にもう設計をある程度されていて、そこをどういうふうに設計したかちゅう話、どういうふうに
0:22:26	物を作ってたかという話と、今回の類型化っていうのは、セットで考えなきゃいけないことがやらなきゃいけない話だったと思っていますんですけど、何かいまいち、何か先ほど示されたやつが、
0:22:39	また何か意識が足りなかったちゅうところ等、何か迅速性を変えてきたっていうところだけに主眼を置いていて要はやるべきことを言ってなかったっていうところの話の認識がずれてるかずれないかちょっといまいちわからなかったところがあるんですけど、もう1回説明してもらっていいですか。
0:22:56	南野佐藤です。一つ目のポツのところはこれも資料で申し訳ないんですけども、令和2年度の文書でその類型化というのは今後の審査の進め方では重要なもので、ポイントですよ。
0:23:09	ということでありながら我々は、そういう形式が足りずに、大変不十分であった。これがまさにその類型化を意識した、設計プロセスの確認であるとかそういったことをせずにですね、この施設設備ごとに、
0:23:25	それぞれ評価なり、設計の確認これをやっていたということでございます。二つ目がまさにそういったところを前回の会合での不十分であると。
0:23:37	指摘を受けたにもかかわらず、そこを改めてですねそういった確認をその中に取りれていなかったといったところを書かせていただいて、三つ目はそういった認識を改めて
0:23:49	ちょっと説明したんですけども、施設課長それから業務担当それから我々事務局メーカー、これが一体となって、そういった設計プロセスの確認を
0:24:00	一体対応していると、いうようなところを書かせていただきました。
0:24:04	日本原燃野瀬がしょっちゅうだけ田尻さんの指摘に対しての補足をさせていただくと、今画面共有でさせていただいている一つ目と二つ目の四角の、
0:24:17	間の行間が足りないだろうなど、そもそも、
0:24:21	類型が重要だよって言われてるのに、そこを軽視してつって設計を進めてい。
0:24:28	ですから、結果をですねきちんと集めて、そのもともとの624の目的にかなうようなまとめ方が、

0:24:40	できるかどうかという検証を事業者としてしっかり、みずから気づいてやらなきゃいけなかったんだけれどもそこができてなかったと。さらに、そういったところについて面談で明確に指摘したのにもかかわらず、
0:24:54	なかなかフットワークが軽く明るくじゃなくて動く、なかなか対応が遅いというのが二つ目の四角に繋がるのかなというふうに思っております。以上です。
0:25:07	規制庁鳥居です今言っていたみたいによは何ができていなくて、だから今後こういった作業はやらなければいけないんですという現在の認識を多分言っていた方がいいと思っています、
0:25:19	何か意識とか迅速性とかが少しふわふわとまたしてしまっている感があるので、やってなかったものをやってなかったっていうふうに言っていた方がいい方がわかりよくてそれをやろうとすると、一番下に書かれてると思うんですけどいろんな人をしっかり集めながら今まで関わって終わらせなきゃ
0:25:34	人がちゃんと関わってなかった施設課長とかもしっかりつかまえながらやっていかなきゃいけないと思ってるんですで今後これぐらいかけてやっていかなきゃいけないんですっていう考え方を言ってもらった方がわかりいいかなというふうに思っています、
0:25:45	特に、前二つはずっと足りてないんだと思うんですけど、前回改革から何か進化したのかっていうと、なんかあんまそこにも繋がってないような気がするんで、前回以降で、前回以降とか前回までに指摘を受けて、よく見直して何ができてなかったところっていうのは抽出して、ここをやってほしいと思ってるんですという宣言。
0:26:04	に繋がった方がいいかなと思うけどそのあたりの認識っていかがでしょうか。
0:26:13	海野佐藤でございます。おっしゃる通り理解いたしましたちょっと確かに不安な感じがあるので、まさにシェアの方から申しましたように、1ポツ目と二つ目の間にですね、次、そういった意識が足りないだけではなくて実態として何ができてなかったのか。
0:26:29	それと、今我々はまさに名古屋でやっているのかといったようなところをね、ちょっと具体的に書きたいと思います。
0:26:40	はい。規制庁田尻です。学んできた一つ目と二つ目の間なのかそもそも構成全然書かせるかはメノコのみがあると説明のやり方というのがあると思うんでそこはオオハシするんですけど、

0:26:53	要は何を明らかにしていった方がいいのかってところだけ認識して対応いただければと思います。とりあえずこのページで他の方あればお願いします。
0:27:04	施設課長っていう用語は、これ正しいですか。
0:27:09	保安規定上こういう言葉になってますかね。
0:27:15	日本へのセガワその施設課長という言い方をしてしまうとちょっとただし表正しい表現かと言われるとそうではないですね、ちょっとあの、
0:27:24	表現の仕方をちょっと工夫いたしますはい。
0:27:27	はい。補足です。保安規定上とか設工認の中でのQMS説明書での表現なのかっていうのはありますけど、
0:27:37	私の認識では施設課長が、
0:27:43	施設所管課の課長が来てもいいかな、
0:27:47	と工事設計の責任者。
0:27:51	有井。
0:27:52	なので、設工認としての説明自体も本来、
0:27:56	当該課長だと言われていたところ、とはいっても余りにもバラバラと説明が統一化ぐらい対応されるので、集約してくれということがあって、
0:28:08	許認可の取りまとめをつかさどる許認可業務か。
0:28:13	が我々の対応としては、しっかりと情報をまとめて対応すると。
0:28:18	いうことで
0:28:20	作業者にその次に
0:28:23	第2階層でのレビューアがいて、ヒアリング対応してという形になっていると理解を
0:28:29	していたんですけど、ここの書きぶりだと、施設を運用する課長ってな
0:28:35	ってて、
0:28:35	km体系の中での話と違ってるとも見えちゃうんですけど。
0:28:40	大丈夫ですか。
0:28:43	はい。日本原燃の瀬川です今コサクさんに言っていた通りですねここ、設計工事を主管する箇所の差がこれ田井施設課長のことで、
0:28:53	ちょっと規定等の表現も意識しながらですね適切な記載に改めたいと思います。以上です。
0:29:02	はい。コサクですよろしく申し上げます。やはりそういったところでそれぞれの責任が何かと。
0:29:08	いうことを踏まえつつ、その責任と余りにも固執しすぎると情報が偏る。

0:29:14	足りないところが出るということだから、
0:29:18	責任それぞれの責任のもとで、協力関係を持って、
0:29:23	対応されるということだと思いますので、仕組みをなし崩しにして何とかすりゃいいんだということではないと思っているのでよろしくお願ひします。
0:29:41	規制庁上出です。
0:29:45	このページ7ページですかね、対応状況って言って、対応しているってなってるんですけど。
0:29:52	何か成果物がよくわからなくて、何をアウトプット等として作っている対応なんでしょうか。
0:30:06	はい。日本原燃の瀬川でございます。
0:30:11	結局やられてきている設計にイレギュラー品がないかどうか、イレギュラー品というか違うグループとしてまとめるべき。
0:30:21	ようなそういう設計評価そういったものが、
0:30:26	やられていないかどうかそういったところを明確にした上でですね、今定めている、定めようとしている設計方針評価方針というまとめり、
0:30:37	それがまとめりとして妥当なのか、もう少し細分化しなきゃいけないのか、そういったところの確からしさというのを確認しようとしております以上です。
0:30:49	はい。規制庁上出です。アウトプットっていうのは私は、どの書類、
0:30:54	どういう書類にまとめるんですかとかどういう書類が、いつごろ見れるんですかっていうイメージで聞いたんですけど、その点でもう少し説明できますか。
0:31:05	はい。日本原燃の瀬川ですまさにですねこの活動のですね、結果、どのように表現させていただこうかとこの書類でどのように表現させていただこうかというのも、
0:31:17	悩みながらですね、予測しているところですけどここが着地で着地着地しましたという
0:31:26	うん。イベントをちょっとどこに預けたらいいのかっていうの、まさに悩んでいたところですので、またですね、面談等の場でご相談させていただければなと思っております以上です。
0:31:40	規制庁深見です。何か現状の悩みはそうなんだろうなと思いつつ、成果をイメージせずに切迫感を持って対応したってしょうがないだろうっていう気はするので、
0:31:53	どうでしょうかね。
0:31:56	何か。

0:31:58	00 っていうわけでもないんですけど、何かしらあれですか、セヒアリング資料みたいのを書く上を展開していくような感じになるんですかね。
0:32:10	はい。2 本目の石田でございます。一応家からは、作ってありまして、共通 0 組累計カーマゼ申請書全体を見渡したときに、
0:32:20	講師になるべきところが共通力になるので、一応受け皿は作ってあって、一般のしか今書いてません。もうそこへ結びつけて書いて、各条の話も考えながら、
0:32:35	今回の類型化、あと代表選手の選び方みたいなものはこういう考え方でやるんだ、具体的にはこういうものだということを、そこで展開した上で、あとは加工場の、
0:32:47	資料で言う添付書類の構成だったりそういったものに紐づいていくのかなと思ってました。
0:32:54	はい。規制庁深見です。わかりました。実態上は面談なりヒアリングでどんどん話を続けていくとは思いますが、会合資料で対応状況っていう意味だと今石岡さん言われたように共通 06 ってただ言ってもあれなのでどんな資料に、
0:33:12	示すように作業して対応しているというふうになるように、とりあえずしてもらえれば
0:33:22	はい、承知いたしました。
0:33:24	そう。
0:33:27	ちゃん。
0:33:28	古作です。
0:33:31	書面上は、確かにヒアリングとしては 00 資料の中の別紙 4 とかで話を最終的にはしていくんですけど、
0:33:40	それ以前に、先ほど長谷川さんの話も、何か答えがあってからそれに、それが正しいかどうかをチェックするんだって言ってましたけど、
0:33:51	そもそもその答えを作ってるのかっていうところろ、
0:33:55	からスタートしなくちゃいけない、それは結局は実際設計って何やったんだよと。
0:34:02	いうことを踏まえて、それが集約できる、設計方針なり、評価方針、評価方法、
0:34:10	評価式というところにブレイクしていくと。
0:34:14	いうことであって、それをやってんのかっていうこと等、
0:34:18	だったんだと思うんですけど。
0:34:22	それはどう、どう進めてるんですか。

0:34:28	はい。日本原燃の瀬川です。まさに今、今も別部隊でやってる最中なんですけれども、実際、ちょっと耐震の例を、
0:34:38	プレスの例を挙げますと、実際評価をスルーにあたって、メーカー、メーカーにやらせるにあたってはですね、
0:34:49	うちの類型で見えてるような 20 とか 30 とかこ細か評価方針がございます。
0:34:56	ああいう評価方針を、実際の耐震評価をやらせる前に定めた上で、これのどれかに従って、耐震評価をやってくださいねというような指示をメーカーにいたしております。
0:35:10	で、メーカー側は、この評価方針中のこの一番の評価方針使ってこの機器の耐震評価やりマースと言って、実際にやった結果、あとその時に使う。
0:35:22	計算式というのを、設計図書で提出してくると、そんなような流れになってます。それを受けた施設はですね、実際にその評価方針、横型の円筒型の機器の評価方針に従ってやっていかどうかみたいなのところをですね、
0:35:39	実際の構造図なんかを見ながら、適用して評価試験が妥当だねといったところを、確認いたしますし、さらにそういう構造図他の諸元を基にですね実際にメーカーから出てきている。
0:35:53	計算式に個別に入力してですね、おんなじアウトプットが出るかどうかというような検算をやっているのが実態でございましたんで、すみませんちょっと今放送が入って止まります。
0:36:13	全部新設。
0:36:16	はい。日本原燃の瀬川です。実態の設計のプロセスとしてはそういうことがなされてることを確認しております。実際それらの素材を使って設工認図書をどう作っていくんだというふうになるわけなんですけれども、
0:36:30	評価方針とか設計方針というまとまりを書くにあたっては、その条文担当が定めて、メーカーに指示した時の評価方針集ですね。
0:36:41	これが元になって、設工認の方針が、評価方針が記載されますし、その下に繋がる計算書具体の計算書ってのは、
0:36:52	メーカーから提出された設計図書ですね、それをもとに計算書が作成されていくということになりますので、この今、私がちょっと口頭で申し上げたパーツの繋がり繋がり、これが
0:37:06	営業ではなく、繋がり結んでいければ、今まとめようとしているその類型のまとまりっていうのは、確からしいものだろうというふうに繋がるかなど。



0:37:19	考えながらですねちょっと、ちょっと
0:37:22	なので、うまく伝えは伝わったかどうかちょっと自信ないですけどもそんな作業を進めていたところですかんなのが落としどころだと思って作業しております以上です。
0:37:32	規制庁コサクです。今その二重三重と言われましたけど、
0:37:36	以前にはその耐震計算方法を計算式として、70種類ぐらいありますみたいなことを言った時期があったんですけど、
0:37:47	実態はその数字が正であってそれで、
0:37:51	実態性なんだからそれで整理をする必要があるって言われたようにも聞こえたんですけど。
0:37:58	でも違うような気がするんで何か訂正するなら訂正してもらえますか。
0:38:02	すいませんちょっとすいません。すいません。
0:38:06	いいですか料現年サガワです。
0:38:08	はい。今野コサクさんのご指摘と、内野んとセガワが言ったことっていうところで、今のお客さんが言った70というのは、一番末端のところになっております。
0:38:20	末端のところっていうところで、細かい計算式70というそれが多すぎるだろうってことでご議論させていただいて、今の基本方針から再掲的に書き下していくと、機器配管。
0:38:32	評価手法でA p p Mで形式ってことで、先ほどお見せしたような資料になっていくので、設工認の本当の類型化の説明としては、代表の、先ほどお話をしていた、
0:38:44	できるだけ的じゃすいません、記念だけじゃなくて、本当建物含めて8分類ってことで先ほど見せた通りになってまして、その細かいものっていうのは、期間は、さっき言った70でその設計っていうのは、ちゃんと社内の管理として、
0:38:57	やったたことを、先ほど瀬川の方から言ったのが社内管理の流れですよねほんと分類の中でばらつきがないよっていうのをそういう管理をしてやってたってところ。
0:39:08	その設計のプロセスの細かいところを説明してましたので、今回の類型化は、その大元のところで説明していくってところになってますので、
0:39:17	一番上、上流というところと、下流ってところの話で今話してたのかなってことで、
0:39:24	聞いてました。以上です。

0:39:29	はい、古作です。それでいうとまず実態を把握するという作業があった上で、それが
0:39:37	今回の設工認申請書とするときに、設計方針評価方針という枠組みに落とし込んでいくそれをなるべく体系的に集約できるところを集約をすると。
0:39:52	いうことを整理をしていかなきゃいけない、していくと言っていると理解をしました。
0:39:59	が、
0:40:01	それが今どういう状況にあってどう進むのかっていうことを、
0:40:06	まず明確にして欲しいのと、
0:40:09	あと今日の資料でもあるんですけど、
0:40:13	期民家事項から変更がないというところがあれば、改造だったり単なる強化だったりということもあるので、Km inカーで変更がないのか、改装なのか新規なのかと。
0:40:26	いうことを踏まえてという話と、
0:40:30	この評価方針とかどういう関係にあるのかっていうことの、前後関係だったり交換関係だったりというところが何か混在していてよくわからない感じもするんですけどそのあたりの整理はいかがですか。
0:40:50	はい。日本原燃の布施セガワです。今コサクさんがおっしゃられたところ、疑問に違和感を感じられたところっていうのは、
0:41:00	私どももですね同じように、大丈夫かなと思っていたところではありますただですね
0:41:07	伊勢県民課通りで条件書いたで形で、合格出るような機器を置いとくとしても、置いとくっていうか置いとくわけじゃないんですけど今の説明からちょっと外しますけれども、例えば改造を伴うもの、
0:41:19	んであれば、その改造した絵姿が、もともと定めている方針のどれかに該当していれば、
0:41:27	累計をやっていくという意味では問題なくなるであろうというふうにもとらまえてますし、改造だけではなくて評価方法変える、例えば、もともと手計算できるようなものをFEMに変えるといったようなことがあったとしたとしてもですね。
0:41:45	そのFEMで評価をするというのが、今佐田今まで定めていたそのFEMに関する方針ですね、これの内数に入っていればですね、それもまた改めて、

0:41:56	類型の中から外れるもの、ものではないという整理ができるのではないかとこのように考えておりました以上です。コサクですけど、すみません入るものであればとかっていう表現がそもそもおかしくて、
0:42:07	入るような類型を作るっていうこと。
0:42:10	でやって、
0:42:13	やはり最初の作業が、
0:42:15	義務になっちゃってるって感じがしますけどね。
0:42:19	角谷に姫野店がちょっと表現がよくなかったかもしれないですがは入る入るのであればというのではなくて、入るとするのがもう前提というかですね。はい。
0:42:34	そういう作業をするんですよ。
0:42:37	そういう作業方針のはずだったんですけど、そうじゃないんだったら、
0:42:42	改めて会合で話をさせていただいて、令和2年6月のペーパーをどう思ってるのかってところからスタートで、審査会合で議論すればいいと思いますけどね。
0:42:53	失礼しますちょっと私の説明がよくないですね。そういうことではなくてですね、
0:43:00	そういうもともと定めた方針で、
0:43:03	新たな評価モデルに勝った評価モデルを組む設備もおんなじ方針でやってくってということが前提にあります。はい。コサクですけど、改めて評価をするわけではなくてもう評価になっちゃってるわけですよ。
0:43:18	違います。
0:43:20	おっしゃる通りです。
0:43:23	さらに言うと、既認可のもので変更なくていいんだっていうのであれば、今回申請されてる評価方針のもとでもととの許認可もやりましたと。
0:43:35	いうことになるはずなんですよ。
0:43:37	じゃないと、今回示した方針とは、既許可は違いますけど、
0:43:43	それぞれ説明は成り立つんでいいでしょって言い方になるんですけど。
0:43:47	これまでの話で言えば、
0:43:51	ちゃんと、
0:43:52	内数に入るものとして整理されて、
0:43:55	この評価方針での内容は既認可で説明済みですって言い方で、これまでのヒアリングで説明されていたので、そういうことも含めて、包含関係にあるかを整理をされると思ってたんですけど。

0:44:07	違います。
0:44:09	日本での世界で今、小阪さんがおっしゃられた通りですね。すみません。
0:44:14	どうしてもいや、
0:44:17	結果の絵姿オシリから飲んで、今悪いくせですね、お尻から説明をするから私のいいような今の説明になってしまったということで申し訳ないです。
0:44:28	完全にすみません二本木西田でございます先ほど古作さん最初に言われた今、どんなことをやってるのかっていうところなんですけど、
0:44:36	まず、例えば耐震でいけば、ちょっと私が手を突っ込んでガラッとしてしまってるかもしれないんですけど、そもそももう、
0:44:45	評価を耐震評価をするといったときに、どういった手法、評価のプロセスステップを踏んで、それをやるんですか。
0:44:54	それをやるか。
0:44:57	違うものが発生する部分というのはどういうところでどの条件設定すべき例えば、
0:45:02	額が発生するんですかっていうのを、仕事があるに沿ってそれぞれちゃんとかこういう言い方で評価をするんですっていう、頭から順番に酸っぱく言って、いろんなことを書いていきましょうと。
0:45:14	帰った時に頭で、
0:45:17	まず計算でやると、FMで言うのは、しゲームのやり方評価のやり方が違いますよねって言ったから最初からそれが二つに分かれて、ただそのFMって圧倒的にその仕事をステップごとにやっていくときに、この条件設定はどうしてもこういう構造の部分とかいうことに、二つに分けないと。
0:45:36	じゃ無理だと。だからそこで多分二つに分かれていくとかっていう、評価のプロセスを決めといて、
0:45:42	整理をしていくっていうのを上からまずやらないといけないっていう仕事と、
0:45:47	S Rやっちゃって評価の結果が出てしまっているものが、
0:45:53	文化からも、
0:45:54	そこの文脈に当てはまるキーワード何なりがどういうところに存在してるのかというところが違うからこれ分けたのかってこれはこれは考え方があったら一緒だグループでっていうのを、
0:46:06	決めといて、病院としていくっていうのを並行してないやろうとしています。それが多分本来あれば、

0:46:13	根本的にヶ月ぐらいやってないと駄目なんじゃないかなって気がしますけど、そういったそういう流れになってます。
0:46:26	コサクですけど、
0:46:29	何ですかね。
0:46:32	類型として束ねていくということ等、
0:46:35	イレギュラー品を見つけ出すっていうのを並行してやるって言われたのが非常によくわからなくて、
0:46:42	基本まとめていくという作業。
0:46:46	をやらないと、イレギュラーなんなんでも無理があって、
0:46:51	まずは集約するんじゃないんですか。
0:46:55	はい。評議員の石田でございます。はいやることとしておっしゃっていただいている通り、まとめていくっていう整理ができないと、その部分に入らない人っていうのがどんな人なのかっていうのが、
0:47:09	キーワードでも何でも拾えない状態だという認識をしておりますので、
0:47:16	今やってることってのはそうなっているでしょう。
0:47:19	それはさっき言ったみたいにけつからキーワード分類文学とまとめるキーワードを拾うという左右とイレギュラーを拾うという作業、大分ぐちゃぐちゃになって今やってるので、その交通整理はしないといけないと思ってます。
0:47:33	これをおっしゃっていただける通りまずは、こういうふう
0:47:38	頭からこの方針が整理できないと、右側とりながら発つけられないというのはおっしゃる通りだと思います。以上です。
0:47:46	コサクですけど、まず前半の
0:47:50	束ねていくんだっていうことをまずしっかりとやっていただいてイレギュラーと言われてたやつは、そこから外れるんじゃなくて、
0:47:59	その中に、その中での対応としていろんなバリエーションがあると。
0:48:03	ということだと思っていてですね、それは、その先の補足説明資料でどれを代表で聞くかと。
0:48:12	根拠なり何なりを一つ一つ細かく見ていくというのは、代表でだけでやるということですけど、
0:48:20	そのときに、隣のこの機器は実はこの部分ちょっと違うんでその部分だけ、
0:48:26	説明しますねと。
0:48:28	いうことが出てくるというところがイレギュラーと言っていたと思ってたんですけど何か、
0:48:33	言葉の使い方が違うみたい。

0:48:36	ですけど、
0:48:37	大丈夫ですかね。
0:48:39	代わりに五味瀬谷でございますはい
0:48:42	若干しゃべりながらずれていたかもしれませんが今前からお話させていても、うちの中でもちょっとずれてるところありますけど、
0:48:51	資金が重要なものがイレギュラーではなくてその中の細かい分類額であるということも含めて整理をしようとは思ってますので、ちょっと今おっしゃっていただいた通り気をつけなきゃいけないのはイレギュラーの言葉の使い方を間違えると、
0:49:04	農作業の考え方もおかしくなってしまうので、そこは今一度整理をしていきたいと思います。
0:49:14	はい。コサクです。その時に既認可での評価方法と、
0:49:20	今回の申請での評価方法は違いますか、一緒ですか。
0:49:25	どういう評価方針で、そもそも今回対応されました。
0:49:32	日本イシハラでございます。当然同じだという認識でございます同じやり方をしている、同じ評価をしんで、評価方法です。
0:49:42	はい。すいません。磯田さんありがとうございます。はい。日本原燃佐川です。ちょっと耐震だけになっちゃったら申し上げます。はい。市野市原が言っていただいた通り、機器配管ともに、
0:49:53	評価方法という意味では一緒になってございます。
0:50:00	規制庁コサクですけど、そこは思ってますとかではなくて、確実に確認してこうこういう状態ですと、いうようにしていただくのが大事だというのがこれまで面談で話したことだと思うんですけど。
0:50:15	そういう状況になるのはいつなんですか。
0:50:18	すいません、日本原燃佐川です。もう少し丁寧に言わしてください。耐震だけっていうのも申し訳ないですけど、評価方法、方針、方法っていうところは一緒ですっていうところで、
0:50:29	伊勢先週ですかね、ご議論させていただいて、変更点って何ですかっていうところの話をしたので、そういう整理を全部やった上で、一緒だよ、基本方針としては一緒だよっていう整理をしてると。
0:50:42	ただ、もともと先ほどちょっとあったような提携式でやってたものをFEMにしたとかモデルをちょっといじったっていうところはありますので、そこは前回の金曜日のご議論で、今週末ぐらいにご議論できるように、提出しますっていうところで話をしたっていうところが、

0:50:58	最新の状況というところなんで、ちょっと今のコサクさんのご指摘に対しては、整理が終わってるということで考えております麻生です。コサクセガワさん。
0:51:06	耐震だけじゃなくて、全体として平仄取って対応していかないといけないでしょと。
0:51:12	いうことの話がどこまでできてんだっていう話をしているので、
0:51:19	今、そこを説明できる状態にまだ全然原燃が立ててないという切迫感のなさということだけは理解をしました。
0:51:29	そこら辺を来週話をするってことですかね。
0:51:36	はい。すいません、日本原燃の瀬川です。
0:51:39	材料構造についてもですね既認可から変更なし、既認可気にかかる変更なしというのを確認はしております。
0:51:49	それ以外の設計に関連する条文ですね、これは新規要求になってきますので、近隣からの変更という意味では
0:51:59	追加という、整理になっております。以上です。
0:52:04	絶対おかしい。
0:52:07	ごめん。
0:52:07	古作です。新規の設備もう評価方針は既認可の方針でやってるんじゃないんですか。
0:52:16	あ、失礼しました申し訳ないです。
0:52:18	金。新規のもので何ていうんでしょう耐震と開発に関連するもの、これは変わらないんですけれども、
0:52:29	例えば、今ちょっと私が説明がちょっと中途半端でしたね。竜巻の、清高木衝突荷重とかですね、そういったものは、新規だろうというつもりで話しました。以上です。
0:52:42	コサクですそれは、新規要求だから当たり前なんですよ。
0:52:49	ただ、そこら辺を体系的にちゃんと整理をして説明いただくと、当然その竜巻防護の衝突荷重なんかを金貨通りですなんていうわけがないので、
0:53:00	そこについては議論は全然してなくて、
0:53:03	既認可でやったものに対して新規設備はどういうふうな対応してますかと。
0:53:09	いうことの華Cですから、それが違ったら評価分近くなっちゃうんですよ。

0:53:16	だけど一緒だっていうんだったら、統一感の持った評価方針のもと、既認可の施設は、既認可で評価して、ものから変更ありませんだし、新規設備はここで、その評価方針に基づいて評価をしますだし、
0:53:30	ということなだけなんで、
0:53:33	そういう体系をちゃんと整理をして説明してくれっていうのが累計。
0:53:37	での申請をしてくれということそのもの。
0:53:41	であって、
0:53:43	2年半たってこういう議論をしてるっていうこと自体がちょっと問題かなというところですよ。
0:53:50	ヒアリングでこれ以上話してもしょうがないかなとは思っているので、
0:53:55	原燃のいえる限りのもので資料を出していただいて、回答で話ができればいいかなと思いますね。
0:54:06	話し合いたい。
0:54:08	そういうこと。
0:54:20	ハセガワですけど、今日ずっと聞いてたもともとあまり口出すつもりはなかったんですけど、最後に感想というか、
0:54:31	言わさしてもらおうと、多分今の現状からすると、
0:54:38	今日の話も結局かみ合ってたなかったなっていうのが、全体の印象で相変わらず多分原燃このままいくと、
0:54:47	適切な説明が、審査を仮に始めたとしても、多分できないというふうにはまず感じてますと。
0:54:58	いくつか、
0:55:01	ちゃんとやらないとというか、
0:55:05	まず瀬川さんの説明を聞いた印象はある種ある結果を、に対して検証をするみたいな、ずっと言い方をしてくれていて、今日の資料のどっかに何か書いてあったけどこの間、
0:55:19	ヒアリングで持ってきた資料かな、アレイみたいなものが、結論がああいうふうにしたいと、それが実行可能かどうかを今検証してるんですけどいう。
0:55:30	そういう説明になってたから、多分思いがもうそういうふうになってるんだろうというふうに思ってます。
0:55:40	多分それは、
0:55:44	最終的には同じような結果になるかもしれないけれども、検討のプロセスとしてはあまり適当ではない。
0:55:54	というふうに思ってます。まず原燃が今しっかりやらないといけないものが、まず最初に、



0:56:03	ね。
0:56:04	要は、設計とかすでに必要な評価を完了しているという、完了した中身を、すべてにおいて、
0:56:15	しっかり理解すること。
0:56:18	それが下に書いてある人たちなんですよ。
0:56:22	一堂に会する人たちは、しっかり内容を理解をまずしないとイケない。どういう注文をしたのかとか、その結果どういうことをやったのかっていう。
0:56:35	それをすべてまず理解をした上で、だったら、こういうふうを考えていこうとあっていう結果から逆算するしかないんだよね。
0:56:47	ていうところでまずそこのう。
0:56:49	要は現状把握というのがしっかりできていないままある結果を見通してそこだけを確認しようというそういうふうには走っているんじゃないかと思うんだけど、
0:57:04	仮にそうだったとしたら、審査始まってからは設計の内容を聞かれるので、その時で沈没しますと、
0:57:15	なのでいずれにしろ設計の中身をきちっと理解をすると、そうするとやった内容がみんな一緒なんだなっていうことが、自然にわかってきてそれを類型化とか代表とあっていう。
0:57:29	そういう言い方をスルーわけなので、まずそこをしっかりとしないといけないのが一つ目。
0:57:39	それと、今度は代表とあっていう。
0:57:43	前に皆さんは、時間の短縮をしたいわけですから、さっき誰かが、藤セガワさんかな、比木許可とおんなじやつは置いていて、
0:57:56	ていうふうには言ったんだけどそれこそが、数を減らして時間短縮をするために、最も考えないとイケないもの、すでに既許可からあまり変更がなくて、
0:58:09	評価を、例えば地震力を変えただけみたいなものっていうのを、どれだけ少ない量で時間短縮してできるかっていうところは多分勝負の鍵であって、
0:58:22	新規にやるものっていうのは、
0:58:26	一通りの説明はやっぱりしないと、一つはしないとイケないっていう。
0:58:32	ということなんでまず既許可の、
0:58:35	評価のみとあっていうのは、あるんだけど、例えば改造工事とかいろんなものをすすめるにあたって最初チェックしてるはずなんですよ。

0:58:47	だからその意味で今回多分、耐震だけの話をする一番簡単な耐震だけの話をすると、まず、
0:58:56	既許可と、
0:58:58	既認可と同じモデルを、
0:59:01	使ったのかっていう、もしそれを使っていれば、多分地震力を単に入れて替えただけで、基本的には進んでるはず。
0:59:11	その中で一部がもたない。
0:59:15	とか、厳しくなっちゃったから、もう1回、
0:59:20	別の形で評価したり、補強をしたり、改造をしたりするっていうのがそこから発生してくるわけだから、
0:59:29	そういうものは別途説明しますってなるんじゃないの、まずここまではどう。
0:59:39	はい。その通りだと思います。その通りなんだけどその通りやってないよね。
0:59:45	いやさっきからねこれまたいつもの原燃のくせなんだけど、
0:59:51	上コサクなりカミデなりはね離すとみんなその通りでその通りです。でも言ってること我々みんな違うぞ。
1:00:09	だ、ここがねもうすでにおかしくなってるんじゃないので皆さんをまず、すべてのね、すでにやっちゃったねえと設計図書っていうのを、
1:00:20	全部隅から隅まで見ようとしているか。
1:00:30	どっち。
1:00:36	はい。日本原電の瀬川です。今まさにやってる最中でございます。見落としております。
1:00:43	これからやるんでしょ。
1:00:47	はい。今日もやっているところです。すみません私今ちょっとヒアリング出てるので、参加しておりませんが、
1:00:53	だから、何でヒアリングに出てる人が、その大事なものを把握しないというそのシステムがまた理解できないんですよ。
1:01:04	瀬田さんはだから設計の内容を理解しなくていいのか。
1:01:08	いやいいんだよもう施設課長に全部任せるんだ。
1:01:12	ていうことでもいいんだけど、
1:01:16	類型化をんなり、代表機器の選定を説明しようとしている瀬川さんが、なぜ中身について把握しないで今後説明できるのかっていうことになるでしょう。
1:01:33	はい。
1:01:34	瀬川さんは外れたの。

1:01:39	いや、等ですね、私となことですね、お互いちょっと補完し合いながらやっていこうと思ってたところです。はい。
1:01:48	今いいけどもね全員が把握しろとは言っていないけれども、
1:01:52	いや、だから、把握もしてないのにセガワさんは、未来のことをかなりしゃべってたわけですよ。
1:02:01	そういうことになるよね。未来に聞かれてるわけだよ。
1:02:09	はい。そうですね。
1:02:11	どういったところが落としどころなのかといったところをちょっと思い描き聞きながらやってる種あります。うん。だから中身を知らないで落としどころなんてあるわけないんだよ。
1:02:23	だからそこがまず、まず第1の問題点。
1:02:27	こんなイメージかなっていうのはあるかもしれないけど、落としどころみたいな世界では決まらん。
1:02:34	こういうふうにできたら楽なんだろうけどね。そうすると、見るべき確認する観点が明確になってくるから、
1:02:43	それはそれでいいんだけど、
1:02:47	でも割れは例の前で説明することではないよね。
1:02:56	はい。
1:03:00	だからもう結局逆算してやるっていう古藤なんだけど、そうするとまずねあと、もう1個言っておくのは誰だ、耐震の説明をばっかりするけれども、
1:03:15	いやね、あなたたの役割、自分が、のところがね、ね、相変わらず縦割りの世界で、自分のところはちゃんとやってますという説明だったらほか見ろよと。
1:03:31	ほかを見てほかの説明を次からしてください。
1:03:36	自分のところがしっかりできてるんだったら他が同じようになっているか、全部ね、見るとこれさぼってて何週間もさぼってるわけだ。
1:03:46	だからその説明をするためにやってないっていうだけで、これ縦割り感が満載になるからね、幾ら集結したって相変わらず変わんねえなっていうのが印象。
1:04:08	で反論があるなら言って、
1:04:13	あ、すみませんちょっと六ヶ所今放送入っておりますすみません。
1:04:26	まず前後把握しないと。なあ。
1:04:37	なんかやっぱり理系の考え、ちょっと違ってるとね。実際、言葉でちゃんとやってると、
1:04:44	そこに書いてある資料とは、

1:04:46	この資料も何かよくわかんないですね。資料は全然意味ないですね。日本原燃の瀬川ですお待たせしました。ちょっとこういうやり方が、山田さんがおっしゃるような気もするんですが、耐震がこの類型という意味では、先行しておりますので、
1:05:06	敵対心でのその類型の考え方っていうのを、私ども許認可が吸い上げてですね、それを在庫だとか竜巻だとかそういった条文に、登坂さん申しわけない。はい。そこが間違ってる。
1:05:19	潜航なんか一つもしてないんだよ。
1:05:33	そこが間違えてるっていうところだから先行している何だかで、ねそれは自慢してるの。
1:05:40	はい。
1:05:42	いや、決してそんなつもりはございません。でも本音しゃべった本人をちゃんとしゃべらせたほうがいい。
1:05:55	佐賀根井サガワさんどうなの。
1:06:01	佐川さんも耐震はちゃんとやってそれがさ、木部先生、一番先行して自分のところは自信满满だったら何で他のところを見ないの。
1:06:12	はい。
1:06:13	なので、この前面談で話しさせていただき、所土岐も自分そこを理解してまして、全部を見なさいよっていうところは言われてますので、そこは別に自慢してるつもりは一切なくてですね。
1:06:26	やらなければいけないということも理解してます。そこできてないっていう自分も言いましたので、そこは、
1:06:32	うん。ちょっと、
1:06:33	全部見なさいっていうところの指摘を受け、別にね僕指示するわけじゃないんだけど、それと瀬川さんと話を合体するとね耐震の部分はね飛び抜けてね。
1:06:47	いろんなもう類型化とか代表機器とか全部ね、もうできててやった内容も全部理解してるから、ここに倣って、整理の仕方っていうのを、
1:06:58	官がね、考えていくんだと、そういう説明をしたいんですよ。
1:07:10	はい、あのさ、最終的にはそうなるのかなと思ってまた未来系の話でした。だからそこが、そもそも間違ってる耐震が合ってるとか間違ってるこの世界があつてるとこ間違ってるないからね。
1:07:26	まず事実を確認して、できるだけ合理的な説明をするために、やった事実を確認した上で、適切に整理をしていくと、そのロジックが大事なわけで、

1:07:48	そういうことをせずに、やったことが正しいとかそういうことを、議論していくと多分間違えた方向に走っていくと思う。まず資料を見る限り、
1:08:01	ちょっとイメージと違うなっていうのが、もう最初の第1印象。別にイメージと違う=もっと、
1:08:11	数を減らしたり、合理的な説明ができるのに、そういうことをしないんだという印象ね。
1:08:19	それは多分、やったことを理解していないし、やってる中身のイメージができていないからだと思う。
1:08:27	それは皆さんが多分具体的な設計をしたことがないし、メーカーがこういうことをやっているんだろうという想像も多分できていなければそうなっちゃって、
1:08:38	だからそれを知りなさいという。
1:08:41	ということが重要なんじゃないか。その施設課長っていうのも、どれだけ知ってるかをまたね、
1:08:48	各課長で違ってるわけだからまず現状把握をするしかないんじゃないかと思うんだけど、この現状把握を一行にしていないと。
1:08:59	そいつのオオハシをっちゃうとしてるんでしょ。
1:09:03	この現状把握なりやった設計の中身を理解しないと、多分今後説明に苦慮するんですよ。
1:09:16	そういうことを、
1:09:17	理解せずにまた橋寄ってしまって、やろうとしてないですか。
1:09:27	いや、日本原燃生活そこが
1:09:31	意識の足りなかったところだと認識しておりますので、不足をしっかりと現状把握、やるということで今活動を始めていったところでございます以上です。
1:09:42	でも今日の説明が違ったっていうこと。
1:09:48	今日現状の把握をしっかりするっていうのは、ほとんど言葉の中には出てきてなかったけれども、
1:09:58	これまでの説明は全チャラなの。
1:10:07	もうすでに自分が矛盾したことを言ってること自体に気が付いてないでしょう。
1:10:19	そうですね
1:10:21	今日提出させていただいた7ページのところにはですねそういった趣旨は、今申し上げた収集は全然入っておりませんでしたので、

1:10:28	そこの部分をきちんと僕はいつも言うようだけど資料の話はしてないんですよ、資料っていうのはね。やった事実なりね考えてることをそのまま書けばいいから、
1:10:41	当資料は別に僕は重要視してなくて、こういう会話をしていくと、会話の流れの中でやっぱり思ってることっていうのが、正直やっぱり出てくるんですよ。
1:10:57	そうすると始まったころと、今最初の最小のは、
1:11:03	からの流れで随分今日話が変わったんじゃないかなという。
1:11:08	印象を受けてるんだけど、セガワさんの的には一緒なんですか。
1:11:19	すいません、日本原燃の瀬川です。やりとりの流れで、
1:11:26	そこに都合のいい表現をしているところはあるかと思えますけれども、
1:11:32	本質、やってきたことをしっかり確認しなきゃいけないといった部分については、このヒアリングの冒頭も今も確認しなきゃいけないと思ってることには変わりはないです。
1:11:45	まずそれをやるっていうことだから、それができない限り後の説明は多分ほとんどできないんじゃないかと思えますけど。
1:12:07	でも、
1:12:08	もし最終的に 15 日に説明するんだとしたら、現状を把握はしてないんだけど、
1:12:16	きっとこういうふうになっているだろうから、そうなってればこうしたいぐらいの説明でしかないんじゃないかと。
1:12:25	だからそれは実際に中身を見てみないとやっぱりわかりませんと、今現状は結局そういうところなんですっていうぐらいの説明なら、わからなくもないけれども、
1:12:42	与儀西原でございます。はいまず、大分全体を見ようという、線の描き方が、
1:12:52	言葉は難しい選び方難しいですけど、矮小化とか入れてちっちゃく見積もってあるターゲットには頭を絞って、
1:13:02	今作業してるんじゃないかというのは管理官の思ってる通りだと思います。本来であれば、まず今回の新規制基準でやるっていう時に、どんだけの件数も、
1:13:14	発行していてどういうことを設計としてやろうとしていたんだと、それぞれに対してどういうインプットを出していったらというアウトプットが返ってきて、全体でどういう仕事をしたというのが、

1:13:26	まず全部洗いざらい見るんでしょってというのが、まずおっしゃっていただいていることだと思いますそれ耐震という仕事じゃなくて、まずそもそも全体像が、
1:13:37	てるのかっていうところは、全体の契約の枠っていうのも
1:13:41	細切れに業務全部わかってるわけじゃなくて、そこに多分ちゃんと着眼して、
1:13:47	全部拾いに行かなきゃいけないっていう認識をまず持たなきゃいけないと思いますので、おっしゃっていただいている通り 15 日の断面では、そういうことをちゃんと認識をして、こういうことを一つ一つ積み上げていきますと、
1:13:59	いうことが、限界かなという気がします。はい。
1:14:09	いずれにしろ 15 日は間に合う分だけ説明、事実を説明すればいいと思いますけれども、結局、
1:14:17	最初の時点でしっかりやってないから、もうすでに合理的な審査ができてないと審査というかも準備段階から合理性を欠いてるっていうことなんですよ。
1:14:32	本当だったらもっと簡単にスムーズに、原燃の中だってできたのに、結局、
1:14:41	うん。
1:14:41	各施設に丸投げして施設が、メーカーに丸投げしてその内容もしっかり把握できてないかもあるぐらいなところから、
1:14:52	それで全部ね、設計も終わって工事も完了してしまいましたね。こっからどうやって説明しましょうというのが、現状なわけで、
1:15:02	なので、結局もう体系的に整理なんていうのは、最初からできてないと。
1:15:08	だからそれを、現実をもう 1 回確認するとその現実の確認が大量になっちゃってると。
1:15:16	原燃自体も本当だったら現実の確認をもっと最小化できたのに、
1:15:22	それを結局全数確認を、ほぼ全数確認に近いようなことをやらないといけないというのが、もうその時点で原燃はスター等から、
1:15:36	大きな代償を払ってるってそういうことなんだと思いますけどね。
1:15:45	そこをまた走ろうとすると、
1:15:48	さらにまたね、借金が雪だるま式に増えていくというそういう構図ができ上がっちゃうんで、
1:15:56	借金少ないうちに、
1:16:00	ちゃんと精算した方がいいと思いますよ。

1:16:09	はい、稲毛西田でございますはいおっしゃっていただけてる通りだと思います。ここでサボる申請をしたところ申請してすぐつまずいて説明できなくてクラッシュするっていう、
1:16:20	明らかに目に見えた結果にしか多分結びつかない。
1:16:25	申請する場合に1回汗かいて、結果ができ上がってるものから整理をしていくっていう、話にはなってしまうんですけど、そういうところを
1:16:36	ちゃんと全体を見た上で、積み上げていくと。
1:16:39	ということかと思しますので、
1:16:42	んじゃないの関係者含めてちゃんとそれを認識した上で、今やってる作業も、
1:16:49	何て言えばでしょう、東芝研究はちゃんとまず全体を把握して、すべて及び一つずつ見ていくという作業をしっかりしていくということをやらせていただきます。
1:16:59	はい。15日おっしゃっていただいた通りその状況を踏まえた上で、我々として今いえることを言わせていただくということかと思しますのでよろしくお願いします。15日の日は奥からの注文としては今
1:17:16	表示されている、このページが田尻君も言ってたけど、
1:17:21	田尻君の言い方も優しかったんだけど、
1:17:25	ここをもう3枚でも4枚でも5枚でもいいからそのぐらい充実させて、書いてもらう。
1:17:32	類型化の意識が足りず退場が不十分だった。何の意識が足りないんだよと、対応って何だって、必要な対応って何だったんだよとか、
1:17:42	結局そういうところがみんな抽象的になってその次も対応が不十分。
1:17:49	さらにはね切迫感を持って対応。
1:17:52	切迫感なんかないし、なんでこのね、人たちが一堂に集結しないといけないんだっていうところも、何もわからない。
1:18:01	今まで400人500に体育館に集めたのに、今更またね、この人たちが重要だったんだみたいな話をどうでね、
1:18:12	西へ切り換えて話をするんだと。
1:18:20	いやだからね。
1:18:22	この話はある意味、全チャラで最初からやり直しますっていうことにもう近いんじゃないかと。だから500人集めたけどほとんど、
1:18:33	機能しなかったのは結局こういうところにあるんじゃないんですかっていう
1:18:39	だからそういう意味でここを相当やらないといけない45日の話はここだけだから、ほかいろいろくっつけてきてもいいけれども、



1:18:50	僕の論点はもうここだけ。
1:18:54	そうしないと、次からも同じ話を延々とし続けるしかない。ここをちゃんとクリアできない限り、原燃が、
1:19:05	正しい形で、その類型化とか代表機器っていうのは答えはいっぱいあるんですよ。
1:19:14	だから別にそれはどれでもいいんだけども、
1:19:19	結果的に
1:19:22	原燃が欲している。いい形にはならないかもしれない。それがこういうところの対応いかに関わってくるっていうそういうことだと思いますんで、いずれにしろ、
1:19:34	ここはもう5枚でも6枚でも10枚でも今回いいですよ。
1:19:40	たくさんあるだろうから基金ないだろうからさ、書き切れるだけ全部洗いざらい出すしかないんじゃない。
1:19:50	はい。すみません。はい
1:19:53	前日も金曜日ですね面談やらしていただいて、おっしゃっていただいている通り何で令和2年にわざわざこの文章を出したのか、それは設工認に向けて、
1:20:04	入山家設計に向けて事前にこういうことを考えておけばいいだろうということを出していただいたもののフラグを全く改修しないまま、
1:20:14	設計より物を作って、今に至って、じゃあ今から考えますっていう状況だっていうのをまず、
1:20:21	今までやってこなかったことの現状把握と、
1:20:25	それを今の悪さ加減をちゃんと一つ一つ書いた上でそれに対して、じゃあこういうアクションをすれば具体的にこういうふうにアウトプットができ上がるんだと。
1:20:35	いうところの具体的なクシヨンの紐付けができるように、
1:20:41	書くということかなと思いますので、そこを含めて、整理をした上で、7ページ拡充をさせていただきたいと思います。
1:20:51	あと、当日、皆さんに確認はするけど、うちの出した紙っていうのを反故にしてやってきたわけだから、
1:21:02	やる気がないんだったら全数やればいいんだよ。
1:21:07	ていうそういうことなんだよね。
1:21:11	じゃ結局とどのつまり、
1:21:14	いや、類型化でやらしてもらいたいっていう方向になるんだとしたらじゃなんでやんなかったんだよっていうところが、最終的には突き詰めて、そこがやっぱり原燃の

1:21:26	認識の低さなのか、甘さなのか、みんなそこに尽きてくるよ、そんなのに体育館に100人集めて名前が何をやってたんだっていう、
1:21:37	そういう人が構図にしかなくてないっていう。
1:21:40	これちゃんと幹部に伝えて、しっかり説明をしていただかないといけない。
1:21:47	じゃないかと、そこははっきりさせたいと思いますから、
1:21:51	中途半端に
1:21:54	自分たちの都合のいいように資料作ってきたとしても、それはもっとひどいことになるかもしれないというのを、覚悟しておいてくださいこの間も言いましたけど、
1:22:05	はい。
1:22:06	弓削西田でございますはい。1度、
1:22:09	教えていただける通り普通の施設構造を作って、今回詳細設計ですので、二階に必要なものを出して、普通に申請書を作って出す。
1:22:20	やったときに、果たして自分たちが考えているような期間で審査が終わると思ってますか。
1:22:26	何、どうしたいんですか。
1:22:28	やりたいことを達成するために何をしなきゃいけないと思ってますか。
1:22:32	そういうことを考えてちゃんと、ここの累計かなり代表選手の選び方っていうのはスキームをつくって仕事をしなきゃいけない。
1:22:39	やりたいのがあるんでしょっていうのは、文化部にはさんざん言ってるんですけどまだそこが、文字にもあらわれないし、多分我々がしゃべってる言葉にも表れてないんだと思います。
1:22:50	やりたいのは厳然だと、いうことだと思いますので、それがいいたいことを実現するためにも、誰が何をしてるんだということを、できてないができてない、何かできないんだ。
1:23:01	別だったら当然諸ところにならない。
1:23:04	紙しかないので、そこをちゃんと認識した上でうちの資料であったりこのペーパー流布修正であったり当日の発言であったりと、いうことに繋がるようにさせていただきます。はい。
1:23:17	秋谷。
1:23:19	随分しちゃう。
1:23:25	規制庁塩見です。ほかに舗数に関して規制庁側から何かございますでしょうか。
1:23:36	じゃあちょっと続いてシャンプー。
1:23:39	三方力入れない、ない。

1:23:43	とりあえずここだ。
1:23:59	そんなに進まない。参考とかは、
1:24:02	参考前に、
1:24:06	なっちゃうんだ。
1:24:07	間違いやすい。
1:24:09	はい、岡井と規制庁側から確認等ございますでしょうか。
1:24:19	規制庁セトガワです。すいませんこの審査会合についてなんです、現認側の説明時間を、1-2 もとりあえず5分とっているんですがそれで時間は大丈夫済み。
1:24:31	される時間は大丈夫でしょう考えたって30%。
1:24:35	しゃべっていいかな。
1:24:36	7ページで30分ぐらいしゃべってないと思ったんじゃない。
1:24:41	今回は特別に30分しゃべらせたらいい。
1:24:48	いかがでしょうか原価ははい。
1:24:55	その情報セトガワ君はいつまでに欲しいわけ。
1:25:00	そうですね。ト書き事項なのでまだ先にも大丈夫なんですよ。
1:25:08	いや、
1:25:10	さっき磯野管理官から資料もっとしっかりと書けという話があってね、これ書いてもないのに時間があってわからないんじゃない、すみません。はい。にまた資料を出し、出し直した折にちょっともう一度聞かせていただこうと、すいません。はい。
1:25:27	今回30分は、もっと必要だったら1時間ぐらいしゃべってもいいか、足りないんだったら、
1:25:33	今回も特別仕様で、7ページに関しては、時間無制限でしゃべらせてあげるから、
1:25:42	瀬川さん。
1:25:44	玄関から資料提示とともに時間の要望を連絡してください。時間短くてもどうせQAで長くなるだけなんですけど、
1:25:54	うん。
1:25:56	はい。
1:25:57	飯野ちゃんとしました資料の修正とともに希望時間を、
1:26:02	リクエストさせていただきます。
1:26:06	規制庁志水です。原画を変えて振り返りをお願いします。スケジュールもあわせてお願いします。

1:26:17	日本原燃佐藤です。ありがとうございます。まず1個喰うですけども、1ポツについては今回ちょっと参考に落としてしまった前回の会合での指摘事項。
1:26:27	これらをこれをちょっとまず前段で持ってきて、あそこでしっかり大枠でこういう指摘事項に対する対応をやってるといったことが記載します。議事録の方も確認しましてですね。
1:26:40	再処理の特徴を踏まえて踏まえた対応もせよというような指摘もありましたので、その辺りもちょっと確認して記載残していきます。それを受けて今回の
1:26:50	補正概要については、ちょっとばくっとしたような記載になってますので、ここんところはしっかり分割したというようなその前の補正としてどういったことをやったのかといったところも含めて、網羅的にかつしっかりと個別具体的にちょっと書きたいというふうに思います。
1:27:08	それからあと2ポツ目の方はですねちょっとコメントなんですけれども、15日の会合に向けてはですね、まず現状我々が今どういう状況なのか。
1:27:19	基本的に整理ができていないと、これからまさに現状把握をしていかなければならないといったところに立ち位置を置いて、どういうことをすべきなのかというようなところをちょっとしっかりちょっと考えて、
1:27:30	野間支店の方に落として、記載をしていきたいというふうに思います。
1:27:35	吉川の1つ提出できる。
1:27:38	ちょっとすみません、ちょっと今すぐには答えられませんが遅くとも明後日できましたと思っておりますけどもちょっとまだ正式にはご回答できない状況です。以上です。
1:27:49	はい。規制庁清水です。資料の提出スケジュールについてはまた別途、この後、掲示ご連絡いただければと思います。
1:27:59	全体通して、介護資料について規制庁側から他何かございますでしょうか。
1:28:09	はい。
1:28:10	もうなければ、あと続いて次の資料に移りたいと思います。
1:28:17	続いて共通事項、個別事項の8和気の資料について神側から説明をお願いします。
1:28:25	はい。2イシハラでございます。それでは、共通項目と個別項目の書き分けについてと、

1:28:34	いうこと。すみません今回も出しておきながら口頭でまた、ちょっと修正したい、しなければいけないポイント、補いながら説明をさせていただきます。
1:28:46	前回までのやりとりを踏まえまして右下2ページから、第1章と第2章の関係をそれぞれで基本設計方針上書き
1:28:57	いくかということに、外部含めて分類を再度整理をさせていただきました。
1:29:04	大きくは一番から5までですかね、ありますで、
1:29:09	一番は
1:29:13	具体的な設計方針があってそれを踏まえた上で、個別の設備設計をするんですが、
1:29:19	はい。
1:29:20	ベースの設計は、安全設計という、個別ハウス、第2障害で、共通項目に書いてある共通方針を結構具体が展開されるというのは、
1:29:31	個別、次の設計のベースにあるような研究方針、安全設計の方の手間が①番の項目です。
1:29:40	具体的にはということで※で項目がありますが
1:29:45	第2章の大小日付ということでいきますと大分障害で大小の共通的な責任に基づき設計しますと、
1:29:51	これだけ関係個別具体が技術をするということではないというのがまず一番のグループでございます。
1:29:59	0グラムとかで一番何が違うかということになりますと
1:30:04	要は、②番の方は委員会のように共通的な設計書第1章でうたった上でそこでいって大金とか複数の設計の具体の展開が個別設備ができてくると。
1:30:15	ということでそういったところで、共通で行っていたことを具体的にこういう設備の設計に展開しますよという、リンクが張られるものというのが2番目になります。
1:30:26	対象としては、これ委員会とか閉じ込めとか火災、火山共用の話とか、というようなことで、SAの多様化、
1:30:36	の話ですねこういったものが、それぞれの分類に入ってくるのかなということで整理をさせていただきます。
1:30:43	そのあとに出てくる③番、これまた②番とかで何が違うんだという話になります②番の方は、
1:30:50	③の方が共通的な設計新第1章で書いた上で、第2章で、個々の設備の設計に具体については第2章の一部をどこどこに示しますと。

1:31:00	紐づけは基本的方針で生まれるような部分になります。例えばということで、その下の表がありますが各年、別の委員会防止とかでいきますと臨界警報装置であったり、
1:31:14	可溶性中性子吸収材緊急回路の話であったりと。
1:31:18	いうことをこういったものを設けますよという、ベースの設計方針のが第1章にあってその具体的な設計が第2章からの見解をされる、竜巻みたいなものは、同じように、第1章で竜巻の防護設備を設けることによって、
1:31:32	安全機の建物事業が対象施設の安全機能を損なわない設計とします。この竜巻防護設備に対する具体の設計については第2章見てくださいと。
1:31:42	振られると、例えば関係が成立するものがこの3番目の分類になります。
1:31:49	はい。0。
1:31:51	これ、ここで書いたものではないです。
1:31:55	修正した意見がいくつかございまして、ちょっとまた戻っていただいて恐縮なんですけど、2ページにある安全機能を有する施設、9.1なんですけど、共用に係るものこれまだ書いてあるのが足り足りなさ過ぎてですね。
1:32:08	全部がすいません拾いきれてなかったので追加をしなきゃいけないと。給水設備とか冷却水設備蒸気設備なんかも分類額に入ると。
1:32:17	あと、
1:32:18	どうぞすいません中途半端な赤瀬が入ってるから、すいません何の意味もなくってちょっと他のところから紛れ込んでしまいました。ちょっとこんな中途半端なチェックができてなくて申し訳ないです。
1:32:29	9棟の対応性とか話をいきますと、
1:32:35	当然重大事故のベースの設計になりますので、重大事故等対処設備が展開される施設とか精製施設、あと計測制御施設、
1:32:46	こういったものも展開されますのでこちらもすいません
1:32:49	ちょっと丁寧に委員会を書くべきでは足りなかったところがありましたと。
1:32:53	ということでございます。
1:32:56	あとは、右下3ページのところで、
1:32:59	一番上の、臨界計装置今私の声で6.1、計装と書いてしまいますがこれ今の設備区分上実際は6月の交換になってましたのでここがちょっと誤記でしたと。
1:33:12	はい。

1:33:13	あと、続きの説明としては前回ちょっと話がありました私のDBとSAとの関係ということで、右下3ページの下の方、上の所です。これもコラボっていうのがうまくできるんじゃないかなと思いつつも、
1:33:29	元来県の中でもやはり発生防止系の場合は、三木さんだったりんの話と多分、3ページの下側のSAがうまくリンクするような関係図ができ上がるかなと思いつつも、
1:33:43	境界は、関係でいくとやはりもともとのDBの設計と違う事象進展とか事象に対する対処の紙で出てくるのでうまくちょっとコラボができず、別の表現をすいませんつけてしまってますという状態でございます。
1:33:58	東京放送はじめちょっと待ってください。
1:34:51	申し訳ございませんでした。
1:34:53	はい。右下4ページ、④番、⑤番は特段前回からいじってません。その下のすいませんちょっと下線を、をうまく引き合わせであるとか、いいのかな。
1:35:09	計測制御設備を安全保護系の関係で一緒に省に対して障害可児扱い紐づけて飛ばす。
1:35:18	いう、いわゆる③番の増額にはめるために、必要がある項目だということでちゃんとそれはわかるように対象外の書き方をしなきゃいけませんと、ということで整理をさせていただきましたということで前回ある部分も足しますよと。
1:35:32	ということをご説明させていただきました。同じように嘆きで書いております安全機能を有する施設類さ防止みたいなものも、
1:35:42	いわゆる安全保護回路と制御室にの関係を整理をしないといけないと思ってます。
1:35:47	ここがまだ整理をつい続けてどういう文章で火をつけるのかも含めて拡充が必要な点だと思ってます。
1:35:56	加えてその上で書いた青の部分で達している通すセールス計測制御設備等、安全法回路だけでなくこの設計基準事項との関係でいくと、
1:36:08	制御室を同じように、紐づけをしないといけないようなものではないかと、第1章から第2章に、制御室設計への共通的な方針が第1章にあった上で、
1:36:20	第2章が2、飛ばしにいくというような関係が必要ではないかと。
1:36:25	ておりますのでそういったところもあわせて、整理がまだ必要かというところで考えておりました。
1:36:31	こちらのページも同じような加算が入ってますこれもすいません関係ない事務で恐縮でございます申し訳ございません。

1:36:38	右下 5 ページ以降の表は先ほどの分類に合わせて第 1 章から第 2 章との関係の方は単純に番号でどういう関係があるかというのを整理させていただきました。
1:36:49	ここでもすみません私がいつものごとく、抜けてまして
1:36:57	右下 8 ページ以降のところ、
1:37:01	かなりの 8 ページじゃねえな。
1:37:03	8 ページじゃない。そうだ。9 ページですね 9 ページの S A 関係のところ、ここでこれ今第 1 章から第 2 章に抜けるところを、2.2 とかの溶解施設とか、委員会と書いてますけど、
1:37:16	9 ページの重大事故等対設備を受けて、No 展開する部分があるというのを、前回取りをさせていただいたのにも必ずちょっと追加をするの忘れておったと、いうことでございます。
1:37:26	あれ込めながら関係をして紐づけをしないといけないグループ先ほどの、
1:37:32	②だって言っていた、
1:37:37	②番ですね、2 番で行っていた関係が成立する部分があるので、その辺の紐付けをしないといけないと、いうことでございます。
1:37:46	はい。前回からの整理をして拡充した部分というのは、以上でございます。
1:37:55	成長シミズつではなくて、サガワから確認等ございましたらお願いします。
1:38:01	はい。規制庁館です。ちょっと頭ができたところではあるんですけど 10 分ぐらいするとちょっと日等の出入りがあるので、ちょっと認識確認って第 1 回申請の絡みという意味で 4 ページのところの説明されて、で、
1:38:14	制御室に関して他のところもという話をされたんですけど、ここってというのは、まだ検討中で今回の補正には反映しきれてないと思えばいいんだっけ。はい。よろしゅうございますはい。すみません。メンバーになっておりません。はい。
1:38:31	引き続き速やかに整理をした上で、今回、次の笛載せべくやりたいと思ってます。そのあとその前に 0 資料お会計して、ヒアリングでご説明させていただく必要があると思ってました。以上です。
1:38:45	はい規制庁タジリ状況はわかりましたけど先ほど 3 ページのところ臨界は計測系じゃなくて他の方でしたとか何まで書けますかっていう整理の話でもあるかと思っ
1:38:57	要は今計測系と安全保護回路書いてるところなんですけどそこで今井を 1 番目の臨界のところ継続形で書いてあるところかに変えたときに変



	わるのかとか何か全体として精査は必要かなというふうに思ってるので今時点ではとりあえず見直しが図られるということで認識いたしました。
1:39:13	すいません。
1:39:16	李さんすいません日本原燃の瀬川です。すいません今、ご質問のあった4ページの誤操作の観点での紐付けですね。
1:39:26	これ先週金曜日時点で、医師ハラルのトップにいてですね、東京等6ヶ所でちょっと遠隔でコミュニケーション取りながらやってたので、イシハラに最終の形の
1:39:38	報告しなかったところで、今ちょっとイシハラ発言だったんですが、日野付行っております誤操作で、誤操作の観点で保護回路と制御室に紐づけるという形で、
1:39:50	本日提出する補正ですね、反映してございましたので訂正させていただきます。以上です。多分会話が少しずれていて、誤操作の方針だけの話をされたんですけどイシハラさんがおっしゃられたのは誤操作の防止の観点だけじゃなくて事故対処とか監視の話とかも制御室が絡むものではっていうところでその話をされたかと思ったけどそれもなかったんすかね。
1:40:11	はい、与儀西田でございます。おっしゃる通りでございますの部分がきかできてないという話をさせていただいてました。はい。
1:40:18	ちょっといいです非ログ資料の運用が先に出てきたので関谷さんが誤操作防止と関連付けられてるのはわかるんですけど清潔で別に誤操作防止だけの話を受けてるには、
1:40:29	関係ない居住性の話とか含めていろいろ書かれちゃってるような気がするので、そういったところも含めて、何までを関連付ける必要があるのかの精査をされるということで認識いたしました。ちょっと途中で抜けられる方、
1:40:40	聞きたいことがある方おられた先お願いします。
1:40:44	規制庁コサクです。
1:40:47	表の方見る等①と③とか①②③にも、それぞれの観点で丸第1章と第2章の紐づけの考えが、
1:40:58	混在してますということの整理をしていただいたので大分その点がわかりやすくなったかなと思います。
1:41:07	藤までその、具体的にどの条文なり、どのどの施設がそれに関係するのかっていうことは、その0102とかのところで表で書いてあるということなので、大体

1:41:21	セイリガクはいいかなと思うんで、潰し込みというところでちゃんとチェックをしておいていただければと思うんですけど、
1:41:28	今話があった4ページのDBA、
1:41:32	等、方もありますけど、あとSAとというところが、現状だとつまみ食い状態のままという感じなのは、非常によくはないなと思ってましてこれも
1:41:47	全般的に関連するというような関係で紐付けをしなきゃいけないっていうものと、具体の対策として、個別設備に持たせるっていうのと②③みたいな、
1:41:58	話の視点でもう少しこのところは深掘りしないといけないんだろうなと深掘りというか、検討を深めなきゃいけないんだろうなと。
1:42:07	いうふうに思ってますけど石原さん、認識としてはそんな感じで。
1:42:12	新井新美瀬谷でございます。おっしゃっていただいた4ページ大分答えを先に書いてしまっているところがあるので本来であればこれあの場合の方、整理をした上で、
1:42:22	ああいう中での整理の中で、①番に入る部分もあればあまり2番も入る部分もある、③番もある、それぞれどういったものがその分類で働くかってところをちゃんと整理をした上で、
1:42:34	この結果に結びつけなきゃいけないと思ってますのでその精査は引き続きしていただきたいと思います。はい。補足です。それが3ページの下の衛生関係のところろ
1:42:46	が、何か宙ぶらりんに入ってるなっていう感じがするところだと思うので、その整理をしてくとこの表の位置付けがまた変わってきたり、整理をされて、この趣旨ではこの趣旨は
1:43:01	てますけど、
1:43:02	セガワさんも理解されてますか。
1:43:07	はい。日本原燃の瀬川です。先日も何か同じようなこと言ってた検証が70%80%ぐらい理解してる感じです。
1:43:16	恥ずかしながらですねこの資料いつもイシハラが報告しておりますけれども私もちょっと勉強させてもらいながら、理解追いつきながら追いつかせながらちょっとやっていたところなので、
1:43:27	イシハラにしっかりレクチャーしていただきながら自分の言葉にしたいと思えます以上です。
1:43:33	はい。補足です。結局臨界防止云々とかと、あと9.2と言ってるところとはどういう関係性があるって、整理していくかと。

1:43:45	いうこと等を示していただいてということだと思うんでよろしくお願 いします。
1:43:55	はい。乳井の石田でございます関係者ちゃんと共通認識持つてる要因と いうものも含めて、引き続きやらせていただきますはい。
1:44:06	規制庁コサクです。今回の便では濡れてないってことなので次の便 でってことですがどう進むかっていうのイメージはありますか。
1:44:17	はい日本イシハラでございます。
1:44:21	多分今回の基本設計方針別紙1です。ね臨空は整理をしないとイケない って人たちは、
1:44:31	当社内で議論をちゃんとしますけれども私の考えとしては、を整理した 後の00資料の方のヒアリングでは少なくともこういうふうになってい うんでこの共通個別の考え方のリバイス版と、
1:44:46	ちょっとね、ヒアリングはしていただくのは、いいのかなと思ってまし たそれにひも付けなきゃいけないレベルシリーズと、この資料の改訂版 を同じ日にヒアリングをさせていただくと。
1:44:57	法制部門から変わってるようなこういう場所ですので、またさらにわか るように、整理をして提出をしてやらせていただくと。
1:45:06	ことかなと思ってます。はい。以上です。
1:45:10	古作です。そうだとすると00資料とか今週中に出されて来週。
1:45:17	早めにヒアリングとかっていうようなスケジュールを組めるんですか ね。
1:45:21	はい、与儀西原でございます。
1:45:25	次の日の時間軸を考えると、
1:45:30	それぐらいのスピード感じゃないと辛いかなと思ってました。
1:45:33	翌週の金曜日に出させていただいて来週早々ヒアリングというのが一番 描くべきだけターゲットかなと思ってました。はい。
1:45:45	はい。コサクです。そうかなってところなので、また整理をして、 連絡いただければと思います。私から以上です。
1:45:59	吉見でしょうか。都築です。金田辻井さん。
1:46:05	お願いします。はい。瀬尾タジリです。あれはちょっと細かなところを 含めてちょっと確認していければと思うんですけど、まず日程でから始 まってなんですけど。いや、例えば①と②がいて、
1:46:16	イメージわかる気もするんですけど、①っていうのは具体的な記載って 第2章どんなものがどこに書かれるイメージですかね。
1:46:24	はい。日本原燃石田でございます正直、
1:46:28	設計方針見ると01-02も変わらないと思ってます。

1:46:33	第1章の、これに基づいて設計するっていう方は同じで、
1:46:39	個別の設計の中に、例えば臨界を単一としてこうこうこういうことを考慮すべき具体的な設計に共通項目で言ってるような内容が、
1:46:49	見込んだ上での具体の設計の設備設計になるのが②番。
1:46:54	本文が①番の共通方針、1回社協投資を受けて、含めて設備の設計を担当と言っちゃうんですけど、を変えていくというのが①番ということで、
1:47:07	これ見見た目は変わらないので、ここを分けるかどうかもうちょっとあれかなと思ってました。以上です。
1:47:15	はい。規制庁館です。例えば5ページとか見ると、①番ってやつで遮へいとか、地震のやつが①っていうパターンのやつがいるところなんですけど、いまいちなんか2章のどこってというのがわかりづらくて
1:47:29	多分②番も①と同じことに加えた一緒の共通のなっていう形で個別設備の各プロセスBのところのところ、そういう設計方針を謳っているっていう花Cぐらい。
1:47:41	なのかなと思いつつなんですけど、何か01も0人も同じだったら受けてもっていう気もするので違いをかけたくなってたらそこを説明していただければいいと思うので整理されるということなんでよろしくお願いします。
1:47:54	はい。乳井西原でございますはいちょっと内々とか自分の会社の中での話なので、恐縮ですけどしっかりこういうことを理解して基本設計方針を組み立てて欲しいと。
1:48:07	いう意味ではこの分類に分けさせていただく方が、もうやりやすいうちやうやすいという気はしてますその違いも含めて、しっかり認識できるように記載は拡充させていただければと思います以上です。
1:48:18	はい規制庁谷ですよろしくお願いいたします。
1:48:22	ちょっと続けて自分の方から幾らか行かせていただいて、3ページのところなんですけど、毎日ついてた気がするんですけど、DSAのところではSFPのところは、結局9ポツに体系。
1:48:34	引っ張る形でDPのSFPのところをどうやって下げないでよかったでしたっけ。
1:48:45	はい、稲毛西原でございます。今言われてるのは、
1:48:49	そういうことか3ページの下ですかね、下の表。
1:48:54	ちょっとありそうです3ページと、
1:48:57	ページですかね右下10ページのところで、
1:49:06	一方、

1:49:08	これは両方入ってるのか。
1:49:09	江藤すいません 10 ページの第 2 章 1 ポツの使用済み燃料の受け入れ施設及び貯蔵施設、
1:49:19	入れてもこの中に入ってるっていう。はい、二本木西田でございます。ちょっとこれ完全にはい。D が抜けてます。
1:49:28	9.1 も含めて書かないといけないと思います。はい。両方入ってます。です D B D B A 自体は右下 7 ページのところにもいたりしたのですがあってるけど、
1:49:39	この名前が一緒でっていうことですかね。はい、西田でございますはい。一緒でございますということです。
1:49:45	はい。社長大丈夫なんで 3 ページはあくまで第 1 章の共通的な設計方針を踏まえながら第 2 章に展開するようなやつの書き方はこうであるっていうのを書いてるだけで、両方書くようなやつはここで明記はしてないということですか何か、小牧でも枠外でもいいですけど書いといてもらえれば。
1:50:00	S M R 6 個のうちその他がないとしても 5 校のうちなんか一つだけになるのも若干の違和感があったちゅうだ形なので、何かメモか何か書いてもらおうと認識しやすいかなと思うんですけど。
1:50:10	はい、宮城西田でございます。はいおっしゃっていただいている通りだと思ふのでは、どこかに残り、この S A P のやつがどこにどういう関係で整理したのかがわかるように記載をさせていただきます。
1:50:26	はい。て状態ですよろしくお願ひいたします。先ほど、調査官の方からお話されていてあまり力⑤は大分綺麗になってきたかなというふうに思ふんですけど、先ほどおっしゃられたように 5 ページ以降のところ
1:50:38	だから同じ分類のはずなのに表現ぶりがちょっと違ったりとかっていうところもあったりと、そういうところも精査されるんだと思っているんで、細かくは言わないですけど野瀬さんの方の
1:50:49	最初の方のページは第 1 章から①②③とか飛ばすだけだからわかりいいんですけど、途中から 1 章から 2 章に矢印伸ばすようなやつのところの、微妙に書き分けてるのか書き分けてないのかよくわからんやつとかがいったりするので、
1:51:03	そういったところに関して清さんのことだけよろしくお願ひいたします。

1:51:07	はい、弓削西田でございます。はい。おっしゃっていただいたように書き分けるつもりがないものが、微妙に文書化っていうところは合い合わせて、同じような展開でということで例えば含めて全体精査を、
1:51:19	引き続きやらせていただきます以上です。
1:51:22	はい規制庁タジリです。全体の生産の話なんすけど、結局のところ4ページのところのやつとかは第1回申請にはめる話なので、他のやつも当然整理できてた方がいいと思うんですけど、細かな書きぶりとかどこまでは第1回にはかかわらないで済むんですけど、
1:51:40	4ページのやつは申請書2ここに飛ばしますよってやつが書いてあって先ほど仙波さん言われましたけど制御室は誤操作法人とこだけですよっていうふうに書かれていて、これ多分あと次回って4ポツ3スタッフで見るところ調査防止って多分ごく少数しか書かれてなくて、
1:51:54	結局どの部分だけ飛んできたんだっけみたいな形になりそうな気がするので、その部分を含めて整理のほど、していただいて、ここは先ほども少し説明あったと思うんですけど早めのタイミングでヒアリングしていければと思うんでよろしくをお願いします。
1:52:07	はい、由井西田でございますはい承知いたしました。
1:52:13	はい、規制庁とGです。何か全体見直されそうな気がするのっていう、引き続きちゅうことなんで自分からは涌井長です。他の方からあればお願いします。
1:52:40	一応指名です。規制庁側から特段ございませんでしょうか。
1:52:55	規制庁シミズ特段ないようですので、理念が分かる理解の方をお願いします。
1:53:04	債西原でございます。
1:53:08	ありがとう
1:53:10	等ですね2ページからの3ページにかけての整理の話については、
1:53:19	先ほど指摘等特に3ページの下のセガワの話も含めて整理を進めていきたいとまだちょっとこなれてないところもありますので、整理をしっかりと進めていくということ。
1:53:31	これは4ページに書いてある理由のところの文書の展開紐づけのところについては、第1回申請の強制共進会もかかりますので、
1:53:43	これこの19踏まえて整理を踏まえて書いて安全機能を有する施設のD B Aの部分の関係については性質も含めて記載を整理をして、00しても展開をするということ。

1:53:57	あとは5ページ以降の表のところでまだちょっと言葉が変えなくていいところ、微妙に書いていたり、あと抜けがあったりしておりますのでその精査をさせていただきたいと思います。
1:54:09	はい。以上です。
1:54:13	規制庁清水です。どうす。
1:54:15	スケジュールについて先ほど少し石原さんの方から説明あったと思うんですが、さっき
1:54:22	公開版のスケジュール、しばらく出ていないこともあって補足説明が不足する
1:54:33	スケジュールの方説明お願いします。
1:54:37	はい。日本原燃の藤田です。今志水さんおっしゃったようにちょっとしばらく日北海道のスケジュール出せてなくて申し訳ありません。
1:54:46	本日予定通りですね各条00であったり一部の補足説明資料を提出します。
1:54:52	11日の金曜日ぐらいまでかけてですね各個別の補足提出する準備進めておりますので、こちらの反映と、あと提出から1週間ルールそれから先ほどの共通個別の書き分けの話もございますので、
1:55:06	そのあと有井をスケジュールに落としてですね、提出した、できればなというふうに今考えておりました。
1:55:16	あとヒアリングに開明があるようなものもある可能性もありますのでそこら辺をですねちょっと見えるようにして、提出したいと思います。
1:55:26	はい、規制庁です。
1:55:28	長シミズですし、しました。全体通して規制庁側から何か確認等ありますでしょうか。
1:55:39	藤原燃側も特によろしいでしょうか。
1:55:45	はい。宮尾委員が特にございません。ありがとうございました。
1:55:50	予定していたため、
1:55:53	申しましたので、ちょっとヒアリングを終了します。
1:55:56	横尾手島